

キャラクター名
吾妻メイト

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ エグザイル	ワークス	UGN	エージェントA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	男	
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	30%	
出自	一般家庭	経験	秘密(上司)	邂逅	鷲ノ宮キョウ	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	41
肉体	5	1	2	2		10	行動値	2
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	4	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	10
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(~59)1+3+5 ペルソナ:ウラシマ	白兵	8r+11	6	12		C値8/単体/対象ドッジ-1
(100~129)1+3+5 「ペルソナ:アバタール	白兵	12r+11	6	15		C値7/単体/対象ドッジ-1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
鷲ノ宮家特製学ラン		7		-1	

所持品	
プランナーのメガネ	
コネ(二条)	
思い出の一品	
ユニーク:死神の鋼糸	

合計装甲: 7 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人	P 有為	N 恐怖		
父	P 慈愛	N 嫉妬		
	P 友情	N 不安		
	P 友情	N 嫉妬		
	P 親近感	N 敵愾心		
鷲宮キョウ	P 友情	N 劣等感		
	P 感服	N 不信感		

最大財産P: 6 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:エグザイル	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv							
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリングを行う							
ビーストロア	2	3	オート	至近	単体	自動	リミット	
効果:	リミット【魔獣の咆哮】の効果にさらにダイスD5を付与。LV分使用可能。							
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手データを攻撃力[Lv+5]に変更							
爪剣	1	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	攻撃力+[Lv*2]/対象のドッジ-1							
魔獣の咆哮	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の判定の直前に発動。LV分ダイスを減少させる。							
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	【精神】判定達成値LV×2追加。							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガードを行うときに宣言。ガードを行うとき、ガード値をレベル2番軽減する							
伸縮腕	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	射程を視界に変更する							
ジャイアントグロウス	1	5	メジャー	武器	範囲	対決	100	
効果:	攻撃を範囲に。攻撃力+2d							
自動触手	5	2	オート	自身	至近	自動成功		
効果:	攻撃してきた相手にレベル×3のダメージ							
デモンズウェブ	5	2	常時	10m	単体	自動成功	80↑	
効果:	対象が受けるHPダメージ-LV+1D。ラウンド一回。							
獣の直感	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果:	天候や気温などを察知する							

吾妻メイトは告げたい。
生まれてこの方、モテたことがない彼は、下は3歳上は棺桶まで、女性という女性に声をかけまくる。とにかくモテたくて仕方ない。

それは「相手に対して深い情を抱きにくい」という彼の特性に由来する。本人も自覚しており、ゆえに友情や愛情を渴望し、浅く広く恋人を探し求めるという行動に繋がっている。普段の行動は思想と矛盾しており、起きてもない裏切りをひどく怖がるため、同級生の誘いなどをやんわり断り遠ざける。決して他人を裏切らないあけっぴろげな性格の鷲ノ宮キョウにだけは深い信頼を寄せている。金銭の援助だけは絶対に要求しないことがメイトなりの友情の誓いである。

ペルソナ:ウラシマについて
基本的に言葉が発さない。ひとりぼっちのメイトの横に気付けばいつのまにか居た、物理的に力を持つレネゲイド。寂しさに耐えかねて語りかけてもメイトが欲する答えしか返さないため、いつしか交流を諦めた。
「君は君のままでもいいんだよ」「いつか誰かわかってくれるさ」

